

## 樹木の観察と草花あそび

中臺 由佳里（板橋区）

日時：2009 年 9 月 7 日（月）10 時～15 時

場所：千葉県環境緑化センター（千葉県緑化推進委員会）構内・研修室

講師：小倉文子（会員・木更津市）、麦野 裕（会員・袖ヶ浦市）、河添寿子（SSN）

参加者：大原、小倉、河添、後藤菊子、佐口、佐藤一枝、白井、田井中、高橋多美子、  
田中裕一、中台、晝間、松川、麦野、八木、山田益弘 16 名

9 月 7 日に SSN(小学校支援ネットワーク)の第 45 回勉強会が、長浦の千葉県環境緑化センターで行われました。まずは、環境緑化センターを2班(小倉班と麦野班)に分かれて植物観察。センターの中は自然林の部分と構成林の部分があり、自然植生はどのようなのでしょうかと意見を交わしながら、センター内を一周しました。途中、バッタや小型昆虫を捕獲して観察したりと、観察会に役立つ道具や知識の交換を行いました。

その後は室内にて「樹木の観察と草花あそび」。まず「樹木の観察と草花あそび」の講師を務めてくださった河添さんが、5 種類の葉の外形だけが描かれた用紙を配布し、各々葉脈を書き加えました。「日ごろ見慣れているのに、葉脈まで気に留めていなかった」という声が聞こえ、観察会で基本的知識を再確認するこんな導入も、新鮮に感じられた方も私だけではなかったようです。

まずは、花びらや葉の汁を用いて、紙に色出しをしました。紙に彩色する前に、自分の指先が何色かの鮮やかな色に染まりました。ササのササ舟、ツバキのぞうり、クズのお面、ツワブキのひしゃく、カキの葉の人形など、次から次へと課題が移り、私は付いて行くだけで精一杯なのに、皆さんは嬉々として軽やかに作成していました。さすがに慣れていらっしやること、感心いたしました。

子どもの頃の懐かしい思い出が蘇った方もいらっしやっただのではないのでしょうか。観察会に参加される方の気持ちになったり、それを忘れてつい夢中になってしまったりと熱心に学ぶことしきりでした。作品を写真にしましたので、皆さんも作り方を思い出してください。忘れていたものはありませんか？そして何よりも、講師が率先して楽しむことも大切だということを再認識しました。五感の体験と楽しい思い出はどちらも形はありませんが、確かな実感ですよね。楽しい時間はあっという間に過ぎ、手短な反省会をして帰路に就きました。

本日の企画を実行するにあたり、資料の作成や、準備、下見をこなしていただいた講師の方々に深く感謝いたします。また、本当に久々だったのに弾みをつけて参加することができたのは、講師が小倉文子さんや河添寿子さんという懐かしのメンバーだったからです。「月日は光陰矢の如し」ですが、いきなり数十年をタイムスリップして復帰できたことを、お二人に心から感謝いたします。



楽しいね！